

次の一歩へ「“顔晴る商工会”キャンペーン」推進中

●第119回(平成20年度第4回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成21年1月～3月・報告

平成21年4月～6月・予想



栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較 ・ 図 1	
県内産業別の業況D I 推移を比較 ・ ・ 図 2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・ 図 3
売上額(加工高)の状況	・・・ 図 4
採算(経常利益)の状況	・・・ 図 5
設備投資の状況	・・・ 図 6
経営上の問題点	・・・ 図 7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・ 図 8
売上額(完成工事高)の状況	・・・ 図 9
採算(経常利益)の状況	・・・ 図10
設備投資の状況	・・・ 図11
経営上の問題点	・・・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・ 図13
売上額の状況	・・・ 図14
採算(経常利益)の状況	・・・ 図15
設備投資の状況	・・・ 図16
経営上の問題点	・・・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・ 図18
売上額(収入高)の状況	・・・ 図19
採算(経常利益)の状況	・・・ 図20
設備投資の状況	・・・ 図21
経営上の問題点	・・・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16
参考 中小企業基盤整備機構 第115回 中小企業景況調査 ニュースリリース	
[中小企業の業況判断DIの推移]	17

OD I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、D I 指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

河内・国分寺・大平町・岩舟町・高根沢町

那須烏山・小川・那須町・佐野市あそ・足利市坂西

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成20年3月1日

○調査対象期間

平成20年1月～3月期の実績及び、平成21年4月～6月期の見通しについて調査。

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

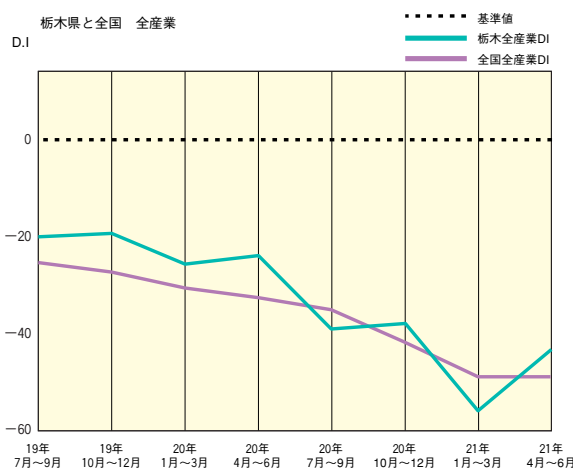
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	35	23.3
建 設 業	25	16.7
小 売 業	50	33.3
サ ー ビ ス 業	40	26.7
合 計	150	100.0%

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国と比べ悪化を示す」 (前期比季調済)



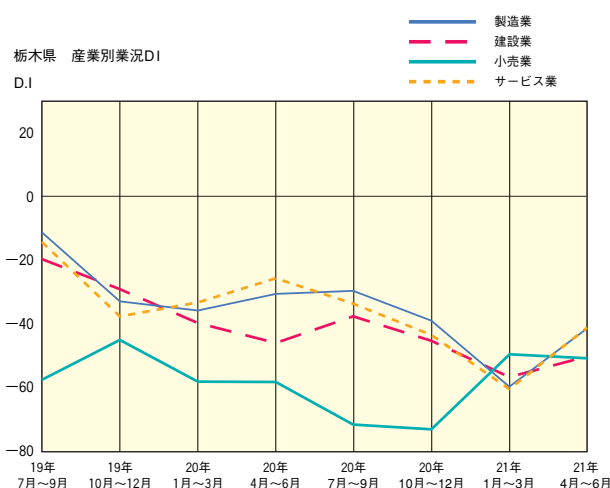
栃木県内の業況D I は、-56.2ポイントと前期と比べ19.1ポイント悪化、近年（過去5年間）で最も悪化値を示している。全国平均(-50.0ポイント)と比べても、厳しい業況が伺える。

来期は、全国平均では横ばいを予想しているが、栃木県では好転すると予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「製造業が大幅に悪化、小売業は好転」 (前期比季調済)



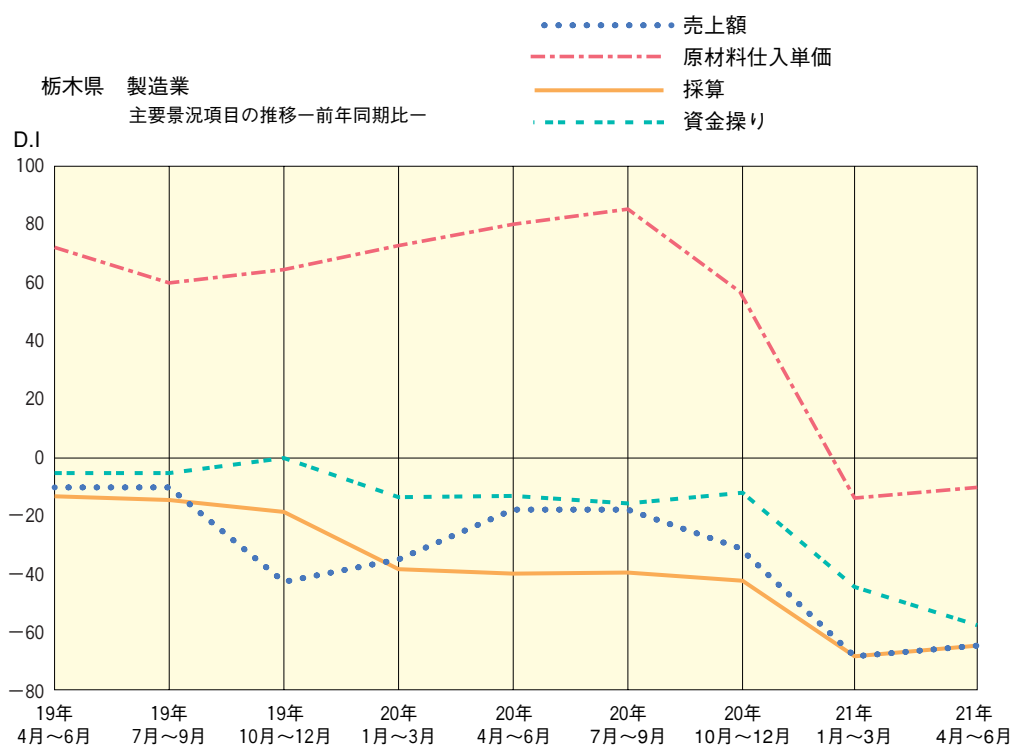
「製造業」前期比-22.6ポイント、「建設業」-12.6ポイント、「サービス業」-18.0ポイントと悪化を示した。「小売業」は3期ぶりに+26.3ポイント好転した。

来期は、「製造業」「建設業」「サービス業」は好転すると予想している。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額、採算悪化、資金繰りが大幅に悪化」



「売上額(加工高)」前期比-37.0ポイント、「採算(経常利益)」-25.6ポイント、「資金繰り」-32.8ポイント悪化を示している。

来期見通しでは「売上額(加工高)」「採算(経常利益)」はやや好転、「資金繰り」はさらに悪化を予想している。

「原材料仕入単価」は大幅(71.8ポイント)に低下し、来期見通しでも低下すると予想している。

－売上額(加工高)－

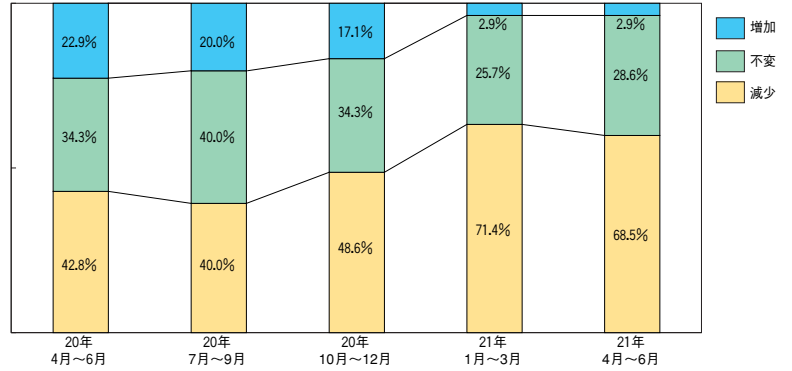
減少企業が71.4%で、D I 値は-68.5ポイント。前期と比べ、-37.0ポイント悪化した。

増加企業は2.9%であった。

来期の見通しは、悪化すると予想する企業が多い。

栃木県 製造業

売上額の状況-前年同期比-



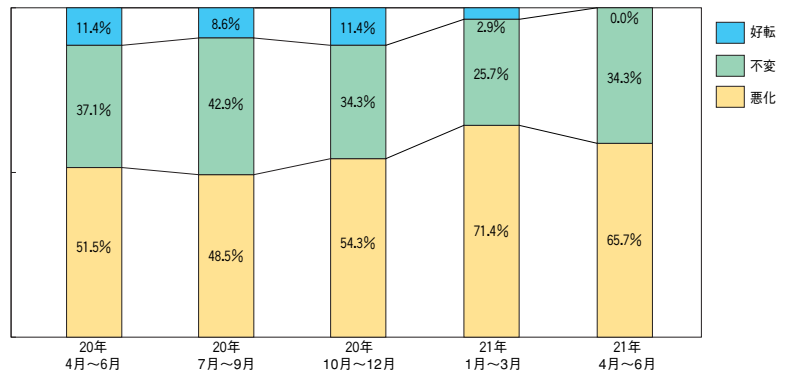
－採算(経常利益)－

売上額と同様に、減少企業が71.4%で、D I 値は-68.5ポイント。前期と比べ、-37.0ポイント悪化した。増加企業は2.9%であった。

来期の見通しは、悪化すると予想する企業が多い。

栃木県 製造業

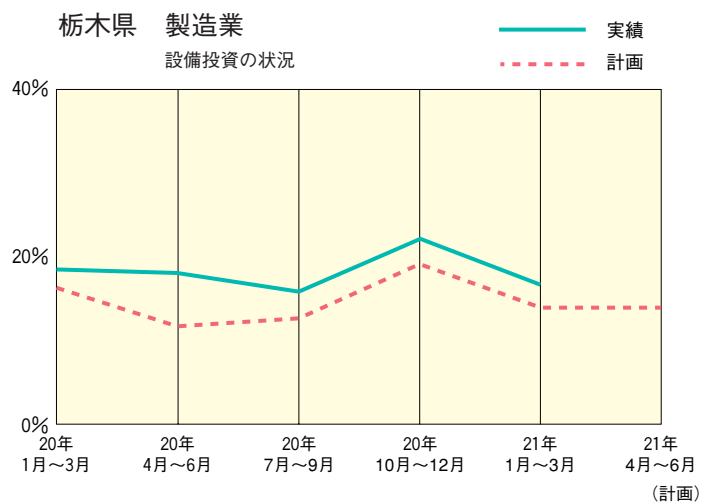
採算の状況-前年同期比-



－設備投資の状況－

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合14.3%に対し、実施割合は17.1%であった。

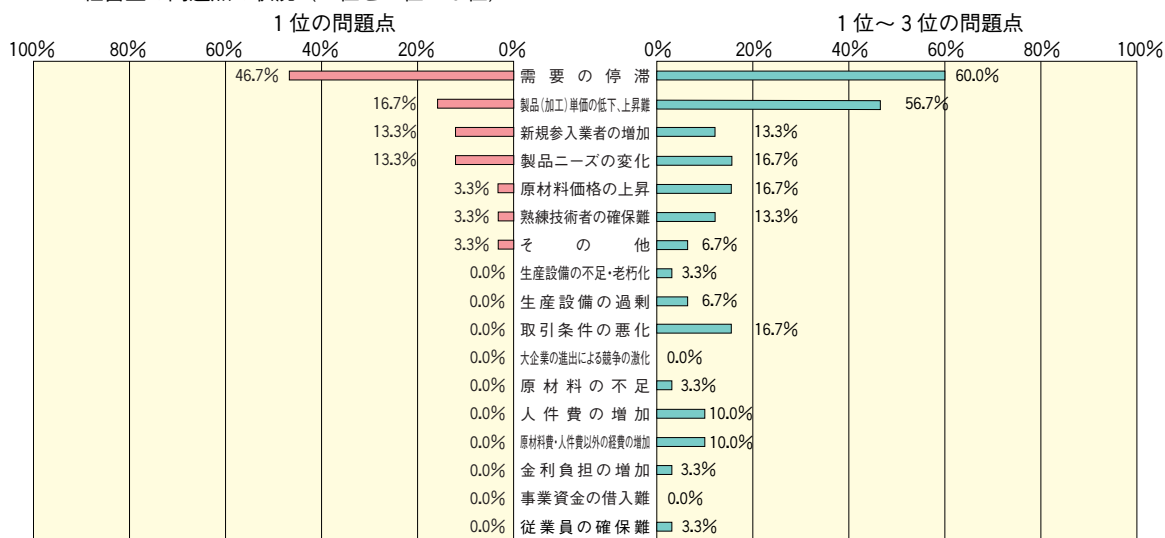
来期に設備投資を計画している企業は14.3%である。



－経営上の問題点－

栃木県 製造業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

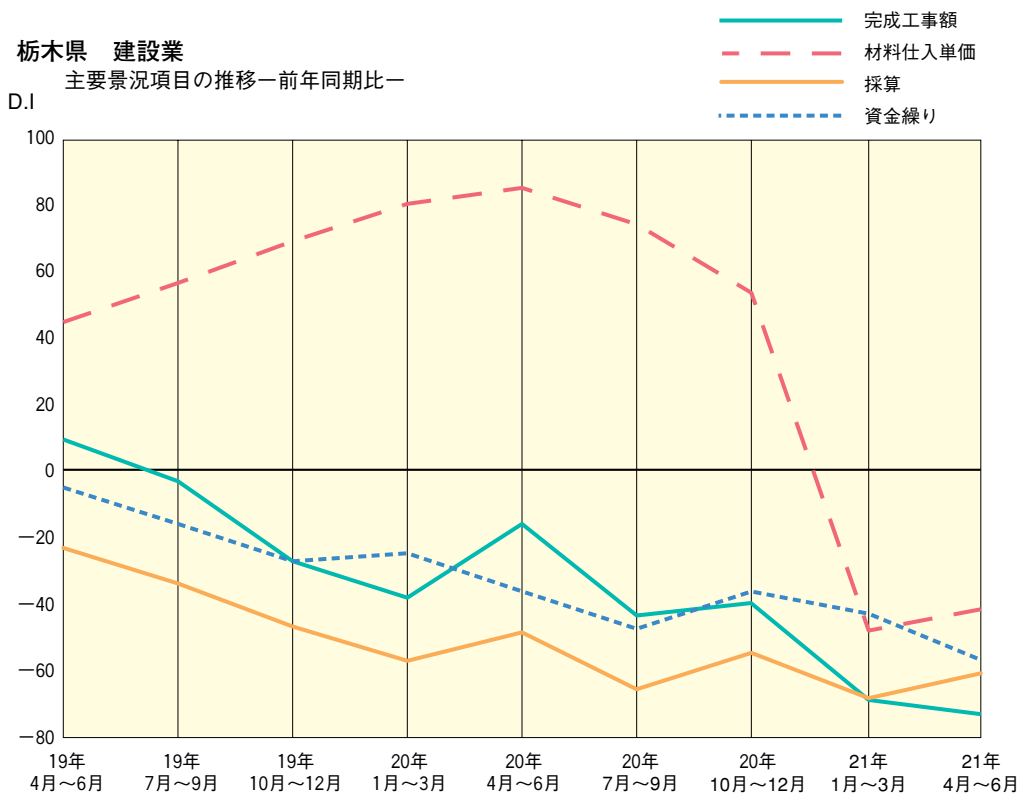


1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら46.7%となっている。そのほか「製品(加工)単価の低下、上昇難」などが挙げられている。

3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額、採算、資金繰りが悪化」



「売上額(完成工事額)」は前期比-28.0ポイント、「採算(経常利益)」は-16.0ポイント、「資金繰り」-8.0ポイント悪化を示した。

見通しとしては、「売上額(完成工事額)」「資金繰り」はさらに悪化、「採算(経常利益)」はやや好転すると予想している。

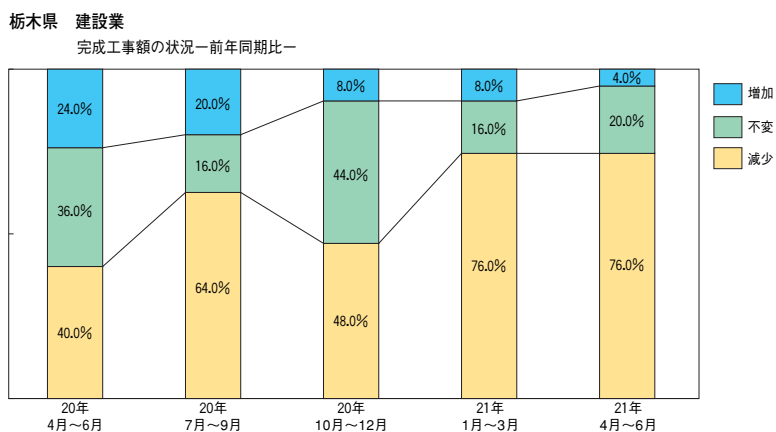
「原材料仕入単価」は大幅(104.2ポイント)に低下し、来期見通しでは、上昇すると予想している。

－売上額(完成工事高)－

減少企業が76.0%で、D I 値は-68.0ポイント。前期と比べ、-20.0ポイント悪化した。

増加企業は前期同様の8.0%であった。

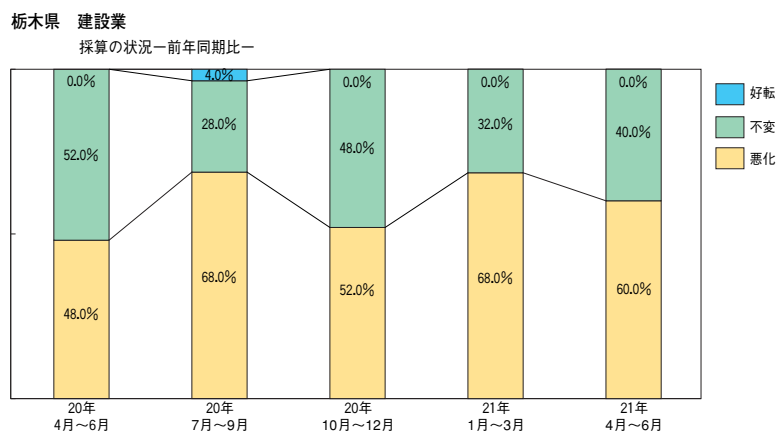
来期の見通しは、悪化すると予想する企業が多い。



－採算(経常利益)－

売上額と同様に、減少企業が68.0%で、D I 値は-68.0ポイント。前期と比べ、-16.0ポイント悪化した。増加企業は0%であった。

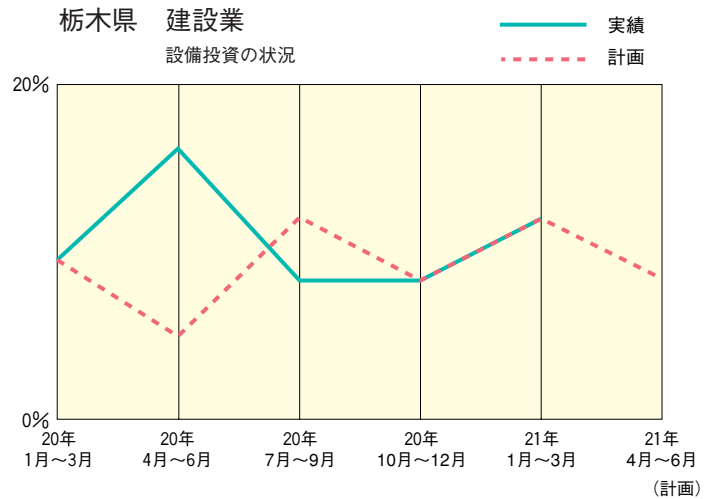
来期の見通しは、悪化すると予想する企業が減少し、D I 値は8.0ポイントの好転を予想している。



一設備投資の状況一

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合と実施割合が12.0%で同じであった。

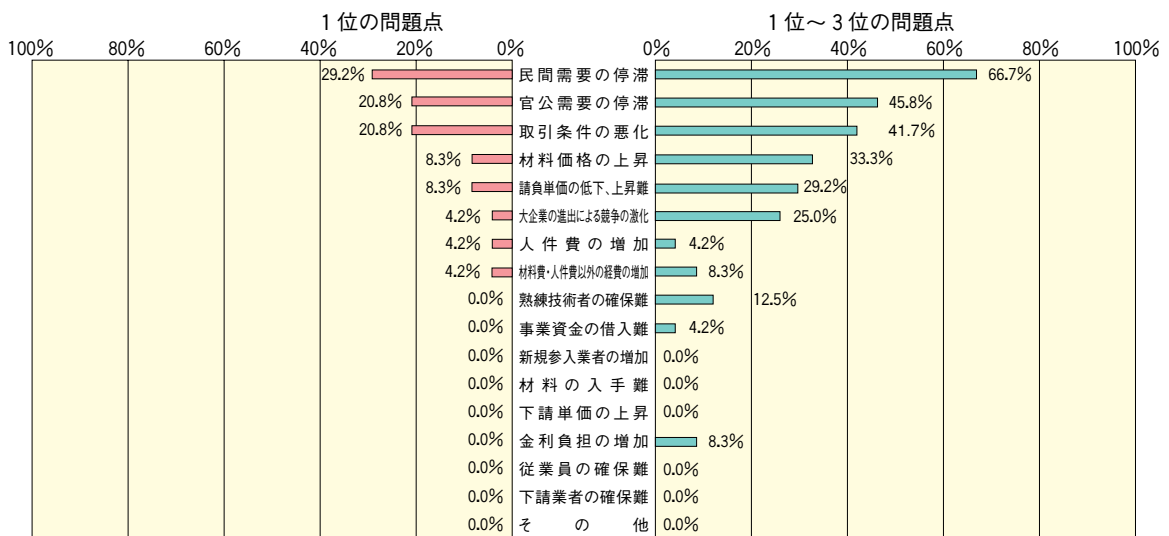
来期に設備投資を計画している企業は8.0%である。



一経営上の問題点一

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

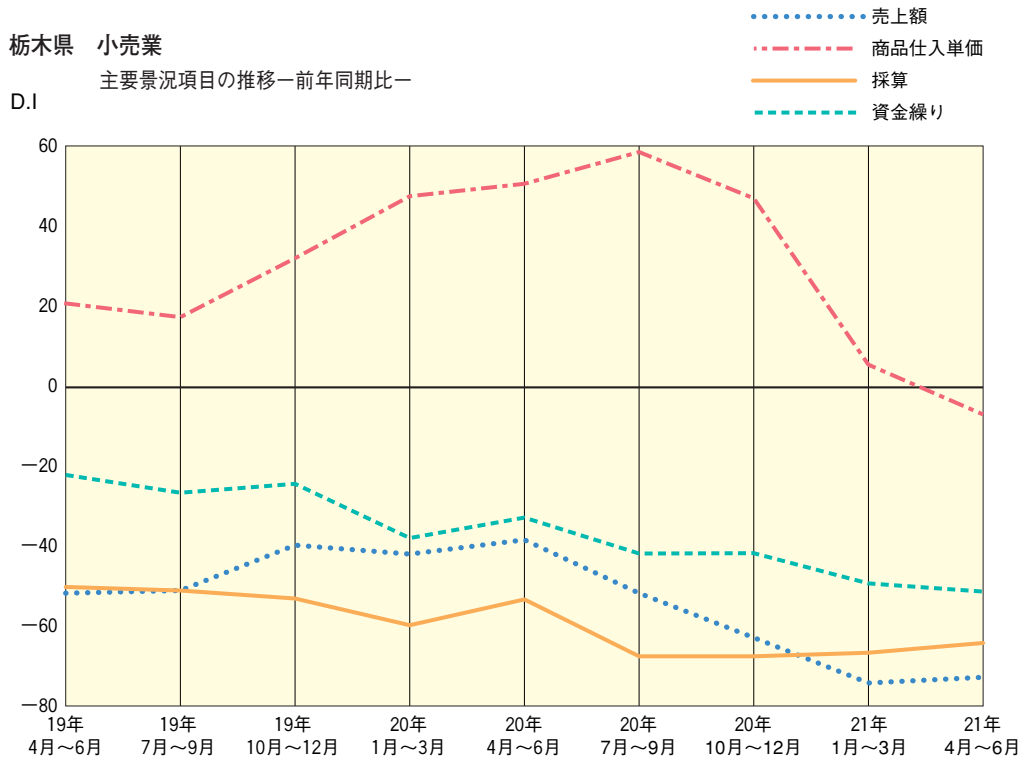


1位～3位の問題点を見ると、「民間需要の停滞」が圧倒的に多く、1位の問題点を見てもトップ (29.2%) に挙げられている。そのほか、「官公需要の停滞」「取引条件の悪化」などが挙げられている。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額、資金繰りが悪化」



「売上額」は前期比-12.0ポイント減少、「採算(経常利益)」「資金繰り」は横ばいだった。

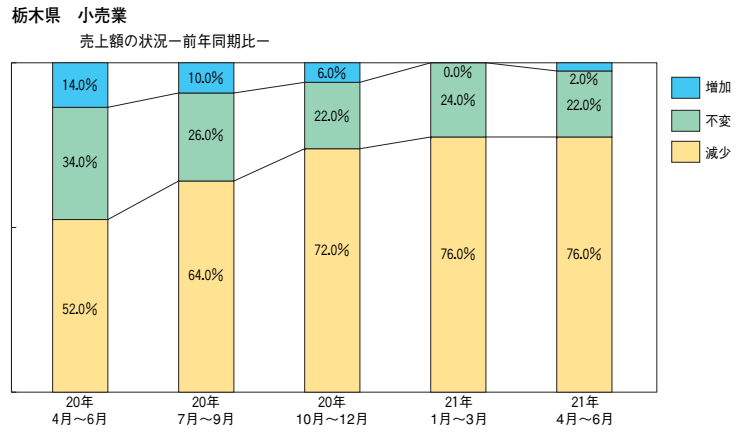
来期は「資金繰り」は悪化、「売上額」「採算(経常利益)」は横ばいと予想している。

「商品仕入単価」については、14.0ポイント低下し、来期も低下すると予想している。

－売上額－

増加企業が6.0%に対し、減少企業が72.0%で、D I 値は-66.0ポイント。

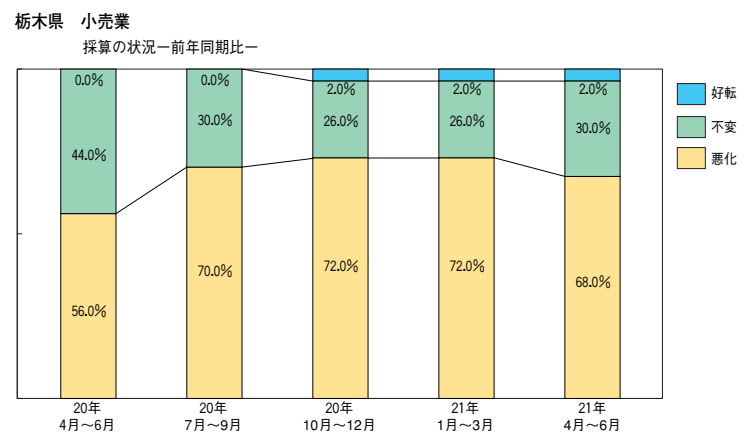
来期の見通しは、増加と予想する企業が減っている。



－採算(経常利益)－

前年同期と比べ、好転企業は2.0%、悪化企業は72.0%で、D I 値は-70.0ポイントだった。

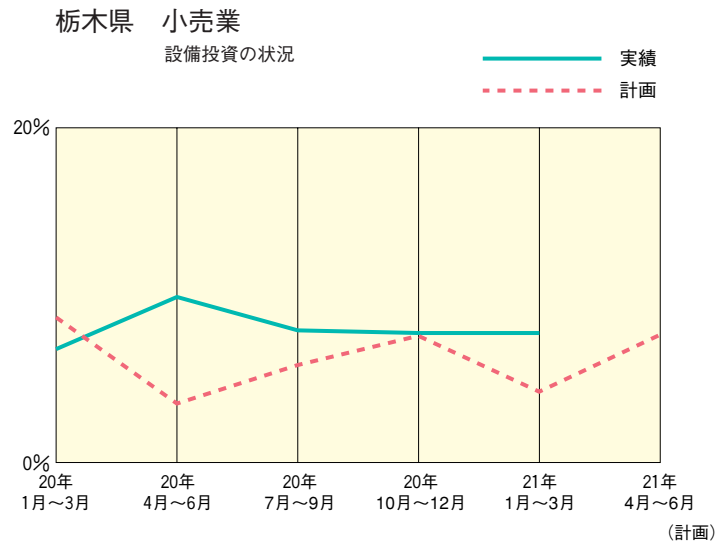
来期の見通しも今期と同じである。



－設備投資の状況－

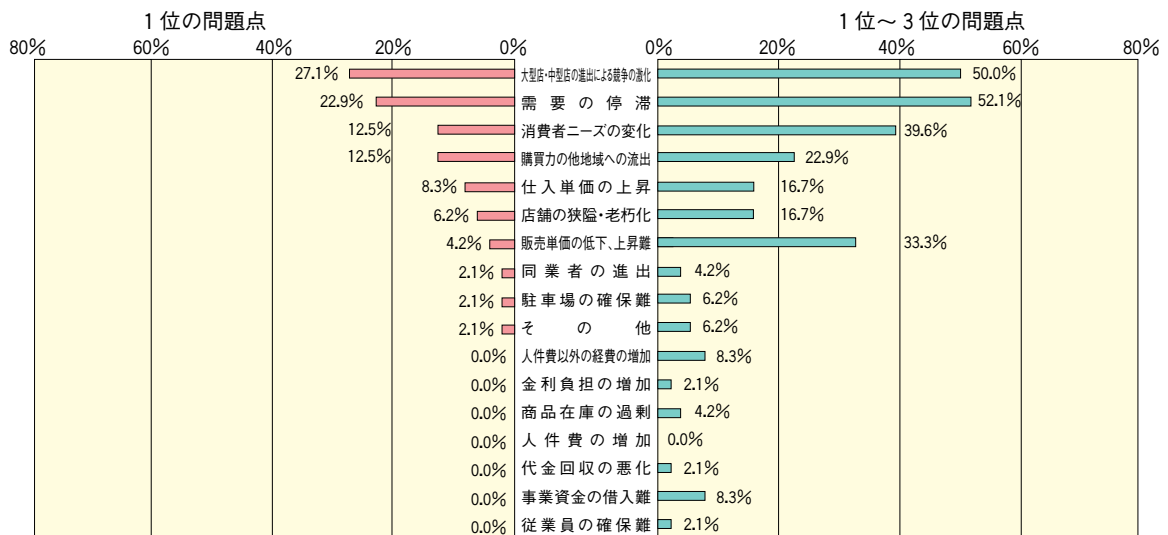
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合4.0%に対し、実施割合は8.0%であった。

来期に設備投資を計画している企業は8.0%である。



－経営上の問題点－

栃木県 小売業
経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

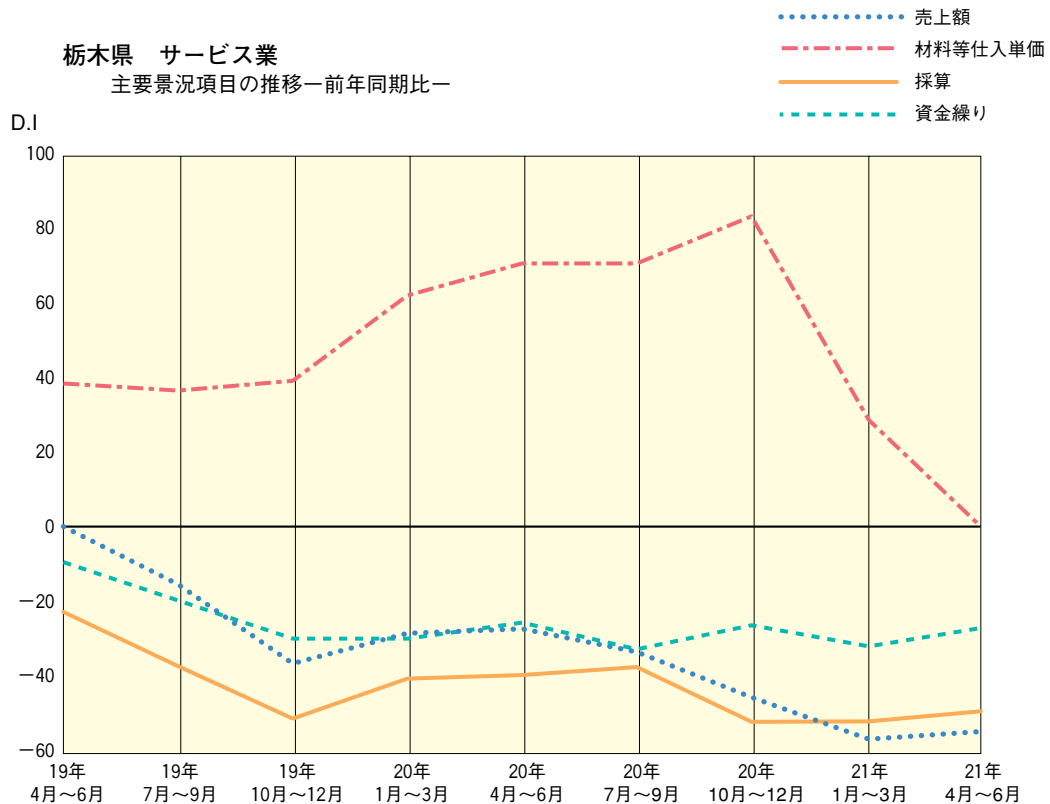


1位～3位の主な問題点を見ると、「需要の停滞」がトップに挙げられ、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「消費者ニーズの変化」が続いている。

5. サービス業の景況

ー主要景況項目の推移ー

「売上額、資金繰りが悪化」



「売上額(収入高)」は前期-45.0ポイントから今期-57.5ポイント、「資金繰り」は前期-27.5ポイントから今期-32.5ポイントと減少・悪化した。

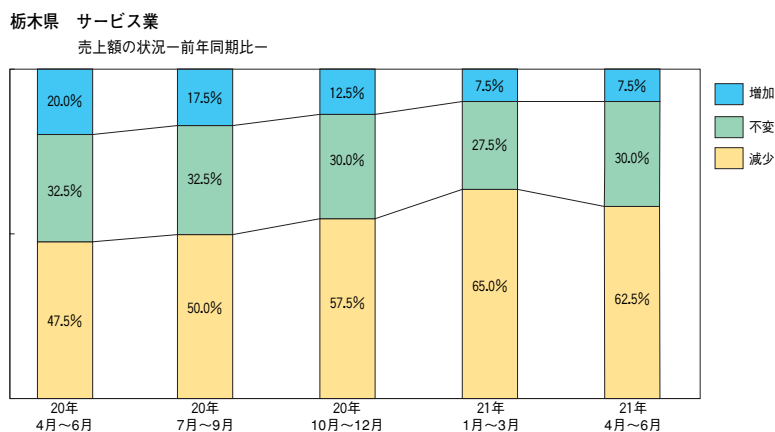
来期見通しでは、「売上額(収入高)」「採算(経常利益)」「資金繰り」とも、やや増加・好転を予想している。

「仕入単価(材料等)」については、54.1ポイント低下し、来期についてもさらに低下すると予想している。

ー売上額(収入高)ー

今期D I 値の内訳を見ると、増加企業が7.5%に対し、減少企業が65.0%でD I 値は-57.5ポイント。

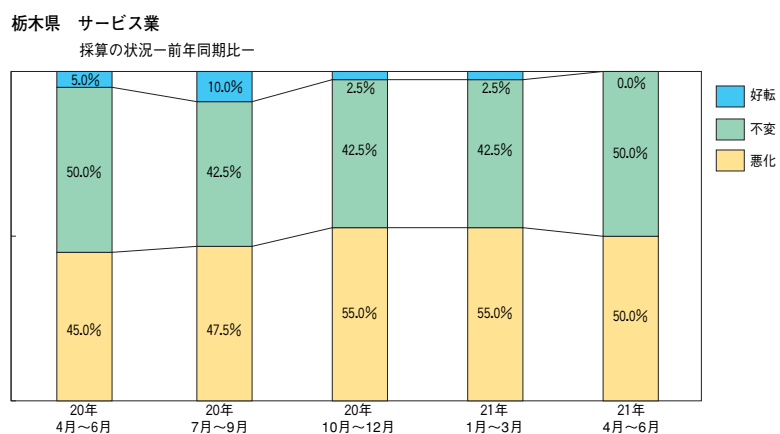
来期の見通しは、減少と予想する企業が減っている。



ー採算(経常利益)ー

前期と同様、好転企業は2.5%、悪化企業は55.0%で、D I 値は-52.5ポイントとなった。

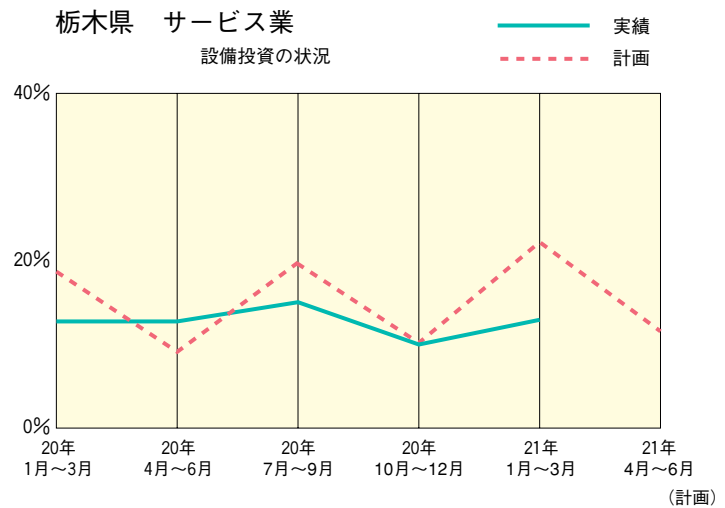
来期の見通しD I は、2.5ポイントの好転を見込んでいる。



－設備投資の状況－

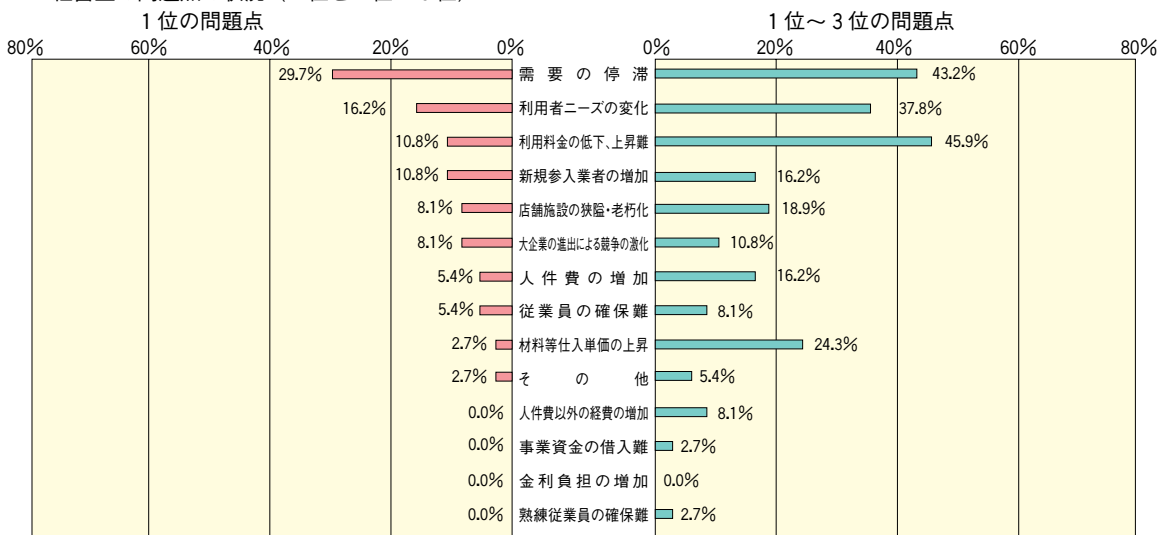
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合22.5%に対し、実施割合は12.5%であった。

来期に設備投資を計画している企業は12.5%である。



－経営上の問題点－

栃木県 サービス業
経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」がトップに挙げられ、「利用者ニーズの変化」、「利用料金の低下、上昇難」が続いている。

【調査対象事業所の内容】

〈製造業〉

業種別内訳 35事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	4	11.4
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0.0
繊維工業	1	2.9
木材・木製品製造業	0	0.0
家具・装備品製造業	1	2.9
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	1	2.9
化学工業	0	0.0
石油製品・石炭製品製造業	0	0.0
プラスチック製品製造業	4	11.4
ゴム製品製造業	0	0.0
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0.0
窯業・土石製品製造業	2	5.7
鉄鋼業	0	0.0
非鉄金属製造業	1	2.9
金属製品製造業	8	22.9
はん用機械器具製造業	1	2.9
生産用機械器具製造業	1	2.9
業務用機械器具製造業	1	2.9
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	2.9
電気機械器具製造業	3	8.6
情報通信機械器具製造業	1	2.9
輸送用機械器具製造業	4	11.4
その他の製造業	1	2.9

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	7	20.0
3人以下～5人以下	5	14.3
6人以下～10人以下	8	22.9
11人以下～20人以下	8	22.9
21人以下～50人以下	3	8.6
51人以下～100人以下	2	5.7
101人以上	2	5.7

〈建設業〉

業種別内訳 25事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	15	60.0
職別工事業	5	20.0
設備工事業	5	20.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	5	20.0
3人以下～5人以下	6	24.0
6人以下～10人以下	8	32.0
11人以下～20人以下	5	20.0
21人以下～50人以下	1	4.0
51人以下～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 50事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	3	6.0
織物・衣服・身の回り品小売業	10	20.0
飲食料品小売業	17	34.0
機械器具小売業	3	6.0
その他の小売業	17	34.0
無店舗小売業	0	0.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	38	76.0
3人以下～5人以下	6	12.0
6人以下～10人以下	5	10.0
11人以下～20人以下	1	2.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 40事業所

業種	事業所数	割合%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
情報通信業	2	5.0
運輸業、郵便業	3	7.5
不動産業、物品賃貸業	1	2.5
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0
宿泊業、飲食サービス業	16	40.0
生活関連サービス業、娯楽業	11	27.5
教育、学習支援業	0	0.0
サービス業(他に分類されないもの)	7	17.5

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	24	60.0
3人以下～5人以下	4	10.0
6人以下～10人以下	9	22.5
11人以下～20人以下	2	5.0
21人以上	1	2.5

第 1 1 9 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 1 年 1 月 ~ 3 月 期 報 告

平成 2 1 年 4 月 ~ 6 月 期 予 想

平成 2 1 年 4 月 発 行

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 経 営 の 見 え る 課

発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印 刷 所 : (株) 松 井 ビ ・ テ ・ オ ・ 印 刷
